

**第3回佐賀県西部広域環境組合  
ごみ処理施設建設委員会会議録**



平成21年10月19日 14:30～15:30

佐賀県西部広域環境組合

第3回佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設委員会			
日 時	平成21年10月19日(月) 14:30~15:30		
場 所	武雄市役所 3階会議室		
委 員	区 分	氏 名	出 欠
	伊万里市 副市長	前田 和人	出
	武雄市 副市長	古賀 滋	出
	鹿島市 副市長	出村 素明	出
	嬉野市 副市長	古賀 一也	出
	有田町 副町長	江崎 幹夫	出
	大町町 副町長	西依 和則	出
	江北町 副町長	横町 晃義	出
	白石町 副町長	川崎 啓義	出
	太良町 副町長	永淵 孝幸	出

佐賀県西部広域環境組合	事務局長	井関 勝志
	事業係長	加々良 俊文
	事業係主査	古賀 正太
財団法人日本環境衛生センター西 日本支局	環境工学部部長	岩永 宏平
	環境工学部建設技術課課長代理	古保里 俊夫
八千代エンジニアリング株式会社	環境施設部技術第二課課長	松本 良二
	環境施設部技術第一課主任	清野 昭則

### 第3回佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設委員会

平成21年10月19日(月)  
午後2時30分 開会

#### 【1】 開会

#### 【2】 協議・報告事項

(1) 第3回施設整備検討部会での主な検討内容及び経過報告

①処理システム・処理方式の二次選定の進め方

②処理システム・処理方式の二次選定での意見等

#### 【3】 その他

#### 【4】 閉会

---

#### 【1】 開会

○事務局長より開会

○委員長の挨拶

#### 【2】 協議・報告事項

(1) 第3回施設整備検討部会での主な検討内容及び経過報告

①処理システム・処理方式の二次選定の進め方

[事務局]

処理システム・処理方式の二次選定の進め方について説明。

[質 疑]

特になし。

②処理システム・処理方式の二次選定での意見等

[事務局]

処理システム・処理方式の二次選定での意見等について説明。

[質 疑]

(委 員) 「検討部会では、技術的・客観的な立場から定性的、定量的に検討してまとめていく」とあるが、定性的、定量的とは具体的にはどのようなことなのか。

(事務局) 定性的とは、数値ではなくて、対策や考え方が、今回メーカーアンケートで求めたものにあっているか、適切かを判断していくものである。定量的とは、例えばコストや温暖化負荷などの数値の大小を検討していくものである。また、数値の大小だけではなく、考え方が適切かもあわせて判断する。

(委 員) 検討部会では、技術的、客観的な立場から評価を行い、それに付随するコメントを付して報告を行うということであるが、松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会から出された要望書については、検討部会では検討しないということなのか。

(事務局) 要望書の中身を分類すると、一次選定の中で反映させたこと、二次選定の評価項目等で反映させなければならないこと、次年度以降に行う施設建設のための発注仕様書作成の中で具体的な条件として反映させていくことがある。二次選定の中で反映させることについては、検討部会でも基本的な整理の中では行っていくが、要望書の項目がどれくらい重要なのかは政策的判断も踏まえて、建設委員会に任せたいという検討部会からのご意見である。

(委 員) 検討部会では、要望書の取り扱いについては、建設委員会で協議してほしいということと理解してよいのか。

(事務局) そうである。検討部会で、不適な処理システム・処理方式は除外し、建設委員会へ推薦する予定である。検討部会からのご意見である、「要望書の取り扱い、評価項目毎の点数化、配点等については建設委員会で行う」こ

とを了承いただけるか確認したい。

(委員) 基本的には了承した。ただし、検討部会で判断材料となるものを整理してから委員会へ提示していただき、検討部会と建設委員会の連携をとりながら進めていきたい。

(事務局) 了解した。

**●検討部会では技術的、客観的な立場から評価を行い、それに付随するコメントを付して整理を行い、複数の処理システム・処理方式を委員会へ推薦する。要望書の取り扱い、評価項目毎の点数化や配点等は建設委員会で行い処理システム・処理方式の選定を行うことを了承いただいた。**

【3】その他

【4】閉会